

日韓環境ギャザリングへの参加報告

16.8.16 大堀川の水辺をきれいにする会 青木

8月13日に手賀沼を中心にして日韓の学生による日韓環境ギャザリングという催しが開催され、これに大堀川の会からガイド役として参加し、大堀川並びに当会の活動を紹介しましたので、簡単に報告します。

- ・この集まりは、5年前に韓国を旅行した学生が当地の学生と知り合い、一緒に環境を学ぼうということでスタートし毎年開催しているとのこと。今回は水をテーマにして、その材料の一つに手賀沼関係を取り上げた。コーディネートをNPO せっけんの街が担当。
- ・参加学生は28名、日本と韓国ほぼ半々（顔を見ただけでは判別困難）。ガイド役はマヅミとガシャクを復活させる会、NPO せっけんの街、大堀川の会、手賀沼トラストの4団体。
- ・午前に水の館にて各団体10分程度の活動紹介。大堀川の会は、大堀川の概要、これまでの水質浄化施策、主要な箇所の写真、会の活動の概要をプロジェクターを用いて説明。通訳付きの10分なのでごく簡単に。
- ・午後は上記4つの団体毎のグループに分かれて、それぞれの見学や作業を実施。大堀川の会のグループは、大堀川の見学ツアーと第2機場見学を実施。（最後に我孫子市手賀沼課の話も）参加学生は日本2名韓国4名の計6名。国土交通省利根川下流事務所の専門職山口氏とNPO せっけんの街の八鍬氏が同行。
- ・ツアーは、流山市初石の生活廃水の水路を振り出しに、駒木の水路と遊水池、北千葉導水注入地点、礫間浄化装置、北柏橋付近を見学して第2機場までで約2時間、各所で要点を解説。山口氏が車中で利根川の治水や北千葉導水を解説し、第2機場では場内を案内。日本在住で日本語もぺらぺらの韓国学生が居て通訳してくれて大助かり。
- ・繰り返し見聞きしているうちに、学生達も大体の理解はできたようだ。みんななかなか熱心で質問も多く、和気藹々としたツアーになった。久しぶりに反応のいい若者と時間を過ごし、こちらも若返った。
- ・両国の学生達がこのような経験を契機に、これから環境問題をしっかり学び、地道に取り組んでくれることを期待したい。

以上。

